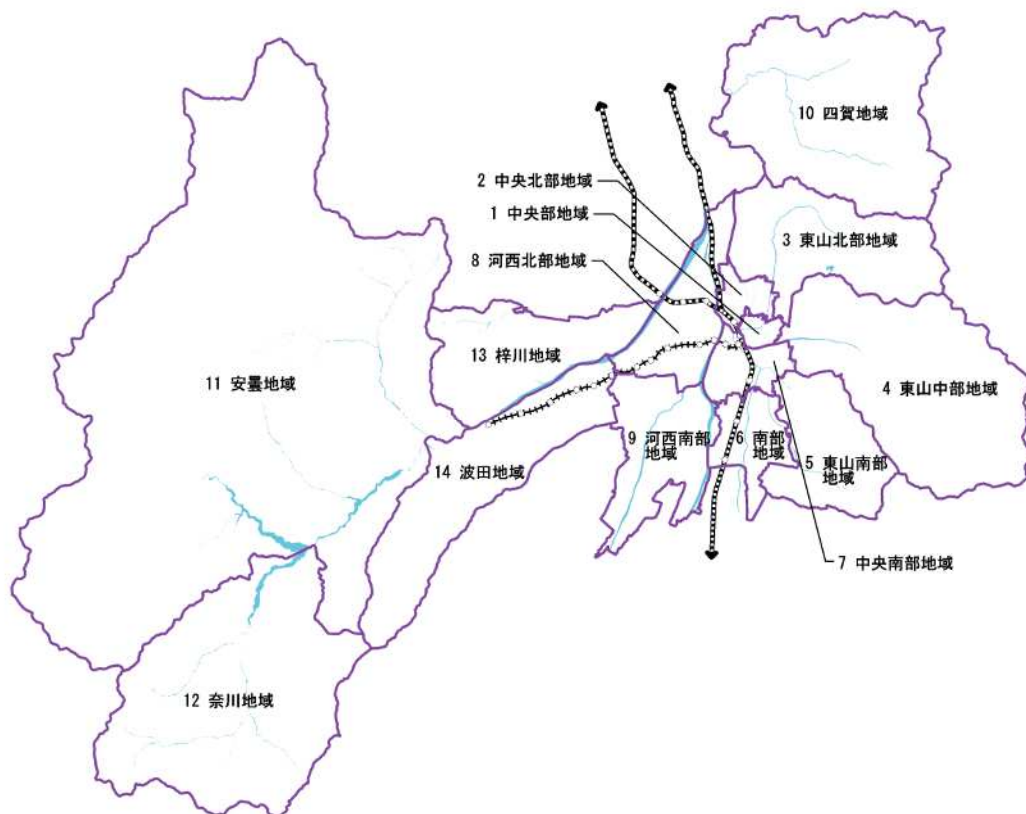


松本市都市計画マスタープラン

地域別構想（素案）



地域区分	地区名	地域区分	地区名
1 中央部地域	中央・東部・第1・第2・第3	8 河西北部地域	島内・島立・新村
2 中央北部地域	白板・城北・安原・城東	9 河西南部地域	和田・神林・笹賀・今井
3 東山北部地域	岡田・本郷	10 四賀地域	四賀
4 東山中中部地域	里山辺・入山辺	11 安曇地域	安曇
5 東山南部地域	中山・内田	12 奈川地域	奈川
6 南部地域	芳川・寿・寿台・松原	13 梓川地域	梓川
7 中央南部地域	田川・鎌田・松南・庄内	14 波田地域	波田

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 中央部地域(中央地区、東部地区、第1地区、第2地区、第3地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

番号は見直しのポイントと合わせています

将来像	「歴史的遺産や豊かな水と緑を活かした松本広域都市圏の中心拠点」 ■松本広域都市圏の中心として、多様な都市機能が集約された商業業務地 ■来街者等が城・蔵・寺・水を巡り、松本の文化を楽しめる観光商業地 ■安全・快適な都市型住宅地	
まちづくりの方針	多様な高次都市機能を集約し、利便性が高く、また文化を楽しめるまちを目指します。松本城をはじめとする史跡(歴史的建造物)の保全、美術館や市民芸術館などを利用した芸術活動の活発化、個性的な商業の振興、歩行者優先に配慮した交通環境の改善などにより、松本の文化を楽しめるまちを目指します。 住環境では、空き地や空き家などの有効活用を図り、多様な世代や世帯のライフスタイルに対応した高密度な住環境を目指します。	
拠点	都市中心拠点(中心市街地の都市機能誘導区域内)	松本都市圏を対象とする高次都市機能の集積を誘導するほか、中心市街地として複合的な都市機能を誘導
	コミュニティ拠点(中央地区、東部地区、第一地区、第二地区、第三地区の地域づくりセンター周辺)	地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動によるコミュニティの維持
	医療拠点(相澤病院)	平時及び災害時における医療機能確保のために、病院へのアクセス道路の確保、周辺の防災機能の向上、各病院の医療活動に必要な環境整備など
	歴史・文化・観光拠点(国宝松本城・国宝旧開智学校周辺、あがたの森)	歴史・文化・観光資源の保全・活用、観光施設等の整備・充実を図るとともに、周辺地域と一体となった魅力向上や回遊性向上

整備方針	土地利用	中心商業業務地区	高次都市機能の集積を積極的に進めるとともに、「商都松本」にふさわしい質の高い商業・業務環境の形成 松本城や蔵のあるまちなみなどの歴史・文化を活かして、地区内での歩行者の回遊性向上
		都市型複合業務地区	各種業務施設と都市型住宅から構成される高密度な土地利用の形成
		都市型住宅地区	低未利用地活用及び土地の高度利用による住宅地形成、生活利便性を活かした積極的な居住誘導
		低層住宅地区	周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりとるおいのある居住環境の形成
		公園緑地	良好な自然環境と調和したスポーツ・レクリエーション、自然との交流及び市民の憩いの場としての充実
		施設整備	・幹線道路等の整備(中心市街地への通過交通を分散し、歩行者優先エリアへの流入を抑制するための整備) ・歩行者、自転車、公共交通を重視して通過交通の流入を抑制し、道路を人中心の空間として再構築 ③ ・松本城や旧開智学校校舎の建物耐震化、周辺環境も含めた環境整備 ・買物等を楽しむ各店舗の取組みがさらに魅力的になるよう、まちなかで滞留・休憩ができる環境を整備 ・河川の水辺と一体となった環境整備 ・防災・避難空間の充実等

整備方針	公共交通	・JR 篠ノ井線、JR 大糸線、アルピコ交通上高地線の利便性向上 ・地域内移動を支えるバス路線の利便性を維持、充実(路線・本数・時間の見直し) ・シェアサイクルの普及促進、自転車通行空間の整備 ③
	環境保全形成	・三の丸エリアビジョンの実現に向けたまちづくり(二つの国宝を有する松本城三の丸及びその周辺について、歴史の積み重ねや特性を生かしたまちの将来像を示し、多くの市民と連携して各種事業を推進、実現を目指す) ② ・城下町にふさわしい賑いと風格のあるまちなみの形成(建築物の新築・改修に対して景観誘導や修景支援、歴史的景観に配慮した道路改良や電線類の地中化) ・空き家・空き店舗等の既存ストックを有効活用しながら、商業活性化とまちなか居住を推進 ・来街者が心地よく回遊できるよう、オープンカフェなどの道路空間を活用した収益活動の推進 ・水辺空間を活用したるおいのある景観の形成(湧水・水路を活かした水辺づくりと周辺の景観整備、生物の生息・生育に適した水質の改善や水辺環境の整備) ・小さな空間を活用した緑の配置や、屋上・壁面を活用した緑化を推進 ・あがたの森公園と調和する住宅地景観の形成(重文旧制松本高等学校校舎と一体となった緑地整備の促進、周辺建築物や広告物等のデザインの規制・誘導。歩道のデザイン化や緑化、ブロック塀の生け垣化等によるあがたの森と調和する緑の街並み景観の形成)

① 見直しのポイント

中心市街地に高次な都市機能や複合的な都市機能を維持・誘導

⑤ 見直しのポイント

暮らしを支えるバス路線を位置づけ



④ 見直しのポイント

コミュニティ拠点に位置づけ、住民主体のまちづくり活動を促進

凡例	
土地利用区分	
■	中心商業業務地区
■	都市型複合業務地区
■	複合業務地区
■	地域商業地区
■	学術・医療地区
■	健康・スポーツ地区
■	工業地区
■	流通業務地区
■	複合産業地区
■	都市型住宅地区
■	低層住宅地区
■	緑農住宅地区
■	田園集落地区
■	山間集落地区
■	森林・丘陵緑地
■	公園緑地
■	河川
■	交通施設用地
道路種別	
—	高速道路
—	高規格道路
—	主要幹線道路
—	幹線道路
公共交通	
—	鉄道(JR)
—	鉄道(その他)
—	バス(主要幹線、幹線)

地域別構想の見直しのポイント

- ① 中心市街地の都市機能の維持・充実を図ります
- ② 松本城を核としたまちづくりを更に進め、交流や賑わいを創出します
- ③ ひと中心の交通環境を整えます
- ④ 暮らしを支えるコミュニティ拠点を位置づけます
- ⑤ 暮らしを支えるバス路線を位置づけます

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 中央北部地域(白板、城北、安原、城東地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

将来像	「豊かな自然や歴史文化と調和したうるおいのある文教のまち」 ■2つの国宝「松本城」「旧開智学校」から続く文教的・歴史的雰囲気と調和する緑豊かな住宅地 ■アルプス公園や城山公園を活かした緑の公園のまち	
まちづくりの方針	アルプス公園を中心とする自然交流ゾーンの整備を図るとともに、アルプス公園や城山公園の緑、国宝旧開智学校の文化的雰囲気と調和する文教住宅地の保全・整備を図ります。 信州大学の学術・医療機能としての機能の維持・充実を図るとともに、周辺地域において生活に必要な施設の立地の維持、誘導を図るなど、歩いて暮らしやすい環境を整えます。	
拠点	医療拠点 (信州大学医学部附属病院)	平時及び災害時における医療機能確保のために、病院へのアクセス道路の確保、周辺の防災機能の向上、各病院の医療活動に必要な環境整備等の推進
	コミュニティ拠点 (白板地区、城北地区、安原地区、城東地区の地域づくりセンター周辺)	地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動によるコミュニティの維持
	産業・研究拠点 (信州大学)	研究機関の集積を維持・誘導し、周辺環境と調和する空間形成を推進
	自然交流拠点 (アルプス公園)	良好な自然環境と調和したレクリエーションや自然との交流の場として整備・充実
土地利用	都市型複合業務地区(女鳥羽川北側の北松本駅を含む地区)	都市機能誘導区域で設定した誘導施設の立地誘導を図ることで、商業・医療・福祉などの生活サービス機能が集積する商業地を形成
	複合業務地区(信州大学周辺の都市機能誘導区域、国道19号沿道の市街地)	信州大学周辺では都市機能誘導区域で設定した誘導施設の立地誘導を図り、大学の病院機能の維持・更新とともに、商業、福祉などの機能が集積する複合的な土地利用の形成 JR篠ノ井線及び国道19号沿道等では業務施設、物流施設、都市型工業施設及び都市型住宅からなる複合的・多機能な土地利用の形成
	学術・医療地区(信州大学)	信州大学の学術・医療機能としての機能維持を図るとともに、さらなる機能の充実に向けて、土地利用規制の見直しや周辺の都市基盤整備など、必要となる対策を検討・推進
	都市型住宅地区	低未利用地活用及び土地の高度利用を通じて住宅地の形成を進め、生活利便性を活かした積極的な居住誘導
	低層住宅地区	周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりとうるおいのある居住環境の形成
	田園集落地区(丘陵地の裾に広がる農地)	優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上
	森林・丘陵緑地(アルプス公園を擁する丘陵地)	良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進
施設整備	・アルプス公園の活用と歴史・文化・観光拠点までを相互に結ぶ散策路の形成 ・幹線道路網の形成(交通渋滞解消に向けた幹線道路の優先整備) ・幹線道路及び生活道路における歩行者と自転車の安全性の確保 ⑥ ・市街地における防災・避難空間の充実等 ⑤	
公共交通	・地域内移動、地域と中心市街地間の移動を支えるバス路線の利便性を維持、充実(路線・本数・時間の見直し) ④ ・中心市街地と郊外部を繋ぐ自転車通行空間の整備	
環境保全形成	・文教住宅地にふさわしい景観の形成 ・城山の丘陵地景観の保全(城山風致地区の保全) ・歴史的・伝統的街並み景観の整備・保全 ・水辺空間の安全性の確保、景観の向上(奈良井川・女鳥羽川の河川改修、身近な水辺空間づくり、景観に配慮した河川緑地の整備)	

整備方針図

番号は見直しのポイントと合わせています



地域別構想の見直しのポイント

- ① 信州大学の学術・医療機関の機能維持・充実を図ります
- ④ 暮らしを支えるバス路線を位置づけます
- ② 信州大学周辺に生活サービス施設等の立地誘導を図ります
- ⑤ 防災対策を推進します
- ③ 空き家・空き地の有効活用を図ります
- ⑥ 道路の安全性を改善します

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 東山北部地域(岡田地区、本郷地区)

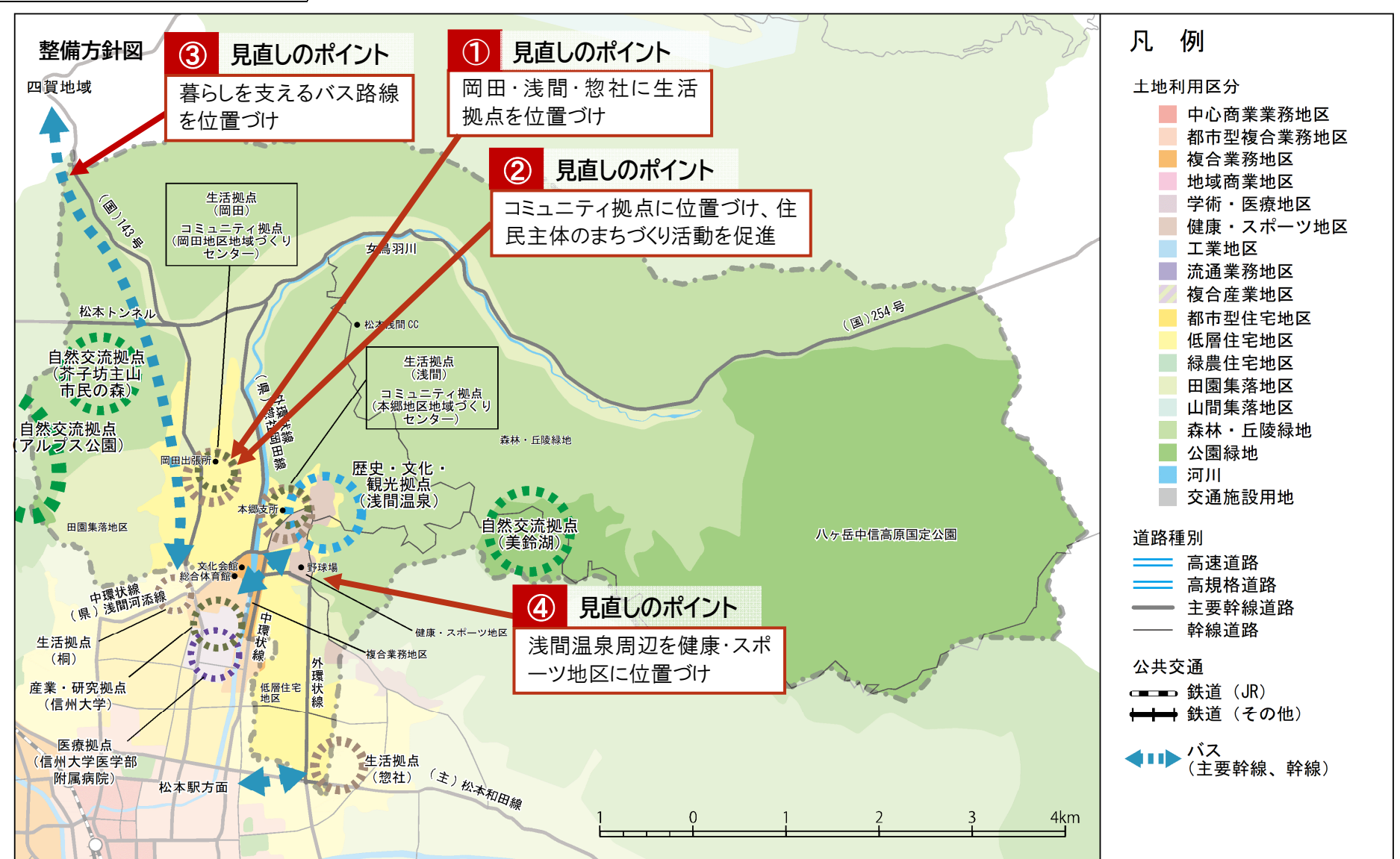
将来像、まちづくりの方針、整備方針

番号は見直しのポイントと合わせています

将来像	「豊かな緑と調和した音楽・スポーツ・温泉のまち」 ■音楽・スポーツ・温泉等の多彩な文化と調和する緑豊かな住宅地 ■美鈴湖、芥子坊主山市民の森一帯の貴重な自然とふれあえるまち	
まちづくりの方針	美鈴湖、芥子坊主山市民の森一帯の貴重な自然環境の保全・活用を図るとともに、本市を代表する音楽・スポーツ・温泉などの多彩な文化と調和する住宅地として整備します。	
拠点	生活拠点(岡田、浅間、惣社)	周辺地域への生活サービス提供を目指し、公共交通や生活サービス施設の維持・誘導と併せて拠点周辺の居住人口の維持
	歴史・文化・観光拠点(浅間温泉)	歴史・文化・観光資源の保全・活用、観光施設等の整備・充実を図るとともに、周辺地域と一体なった魅力向上や回遊性向上
	自然交流拠点(美鈴湖・芥子坊主山市民の森)	良好な自然環境と調和したレクリエーションや自然との交流の場として整備・充実
	コミュニティ拠点(岡田地区、本郷地区の地域づくりセンター周辺)	地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動によるコミュニティの維持

整備方針	公共交通	・地域内移動、地域と中心市街地との移動を支えるバス路線の利便性を維持、充実(路線・本数・時間の見直し、山間部は利用状況等を考慮して利便性の向上を検討) ③ ・中心市街地と郊外部を繋ぐ自転車通行空間の整備
	環境保全形成	・情緒のある温泉街景観の形成(浅間温泉における歩いて風情を感じる景観の形成、周囲を囲む住宅地における歴史的温泉街と調和する景観の形成) ・多彩な文化施設と調和する住宅地景観の形成(浅間温泉周辺や文化・スポーツ施設及び教育施設周辺の住宅地では、山並みと調和のとれた屋外広告物のデザイン誘導により良好な街並みを形成、ブロック塀の生け垣化を進め、音楽・スポーツ・温泉等の多彩な文化施設と調和する住宅地景観の創出) ・貴重な自然景観の保全(芥子坊主山市民の森周辺及び東山山系の自然緑地の保全、眺望に配慮した芥子坊主山市民の森周辺の施設整備)

整備方針	土地利用	健康・スポーツ地区(浅間温泉地区) ④	滞在型の観光施設の整備・充実、スポーツ施設等の整備・充実を通じ、温泉施設と連携した健康づくりのための空間形成
		低層住宅地区	周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりとうるおいのある居住環境の形成
		田園集落地区(女鳥羽川沿いに広がる農地)	優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上
		森林・丘陵緑地(八ヶ岳中信高原国定公園以外の丘陵地)	良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進
		公園緑地(八ヶ岳中信高原国定公園)	良好な自然環境と調和したレクリエーション、自然との交流及び市民の憩いの場としての充実
施設整備	・市街地における防災・避難空間の充実等 ・歴史・文化・観光拠点内でのうるおいある歩行空間の整備(浅間温泉地区や松本文化会館・総合体育館周辺地区) ・丘陵部の自然交流拠点を相互に結ぶ散策路の整備(美鈴湖周辺や芥子坊主山市民の森一帯の散策路の整備) ・土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の危険周知、避難体制整備等の対策の推進		



- 凡例
- 土地利用区分
- 中心商業業務地区
 - 都市型複合業務地区
 - 複合業務地区
 - 地域商業地区
 - 学術・医療地区
 - 健康・スポーツ地区
 - 工業地区
 - 流通業務地区
 - 複合産業地区
 - 都市型住宅地区
 - 低層住宅地区
 - 緑農住宅地区
 - 田園集落地区
 - 山間集落地区
 - 森林・丘陵緑地
 - 公園緑地
 - 河川
 - 交通施設用地
- 道路種別
- 高速道路
 - 高規格道路
 - 主要幹線道路
 - 幹線道路
- 公共交通
- 鉄道 (JR)
 - 鉄道 (その他)
 - バス (主要幹線、幹線)

地域別構想の見直しのポイント

- ① 岡田・浅間・惣社に生活拠点を位置づけます
- ② 暮らしを支えるコミュニティ拠点を位置づけます
- ③ 暮らしを支えるバス路線を位置づけます
- ④ 浅間温泉周辺を健康・スポーツ地区に位置づけ、温泉施設と健康づくりの連携を進めます

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 東山中部地域(里山辺地区、入山辺地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

番号は見直しのポイントと合わせています

将来像	「湯けむり・ぶどう・歴史を活かした山ふところの里」 ■歴史ある都市近郊型の温泉観光地 ■ぶどう・遺跡を活かした個性豊かな山ふところの里(ぶどうの里づくり) ■美ヶ原高原と三城一帯周辺の良い自然環境とふれあえるまち	
まちづくりの方針	美ヶ原温泉街を歴史・文化・観光拠点として位置付け、浅間温泉等と連携しながら、温泉街としての魅力づくりに加え、良好な水と緑の環境をもつ美ヶ原高原、三城一帯を自然交流拠点として整備します。また、山辺ぶどうなどの地域特有の資源や古墳、古寺、古城などの歴史資源を活かした地域産業づくりをすすめ、里山景観と調和した山ふところの里として整備します。	
拠点	コミュニティ拠点(里山辺地区、入山辺地区の地域づくりセンター周辺)	地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動によるコミュニティの維持
	歴史・文化・観光拠点(美ヶ原温泉)	歴史・文化・観光資源の保全・活用、観光施設等の整備・充実を図るとともに、周辺地域と一体なった魅力向上や回遊性向上
	自然交流拠点(美ヶ原高原、三城一帯)	良好な自然環境と調和したレクリエーションや自然との交流の場として整備・充実

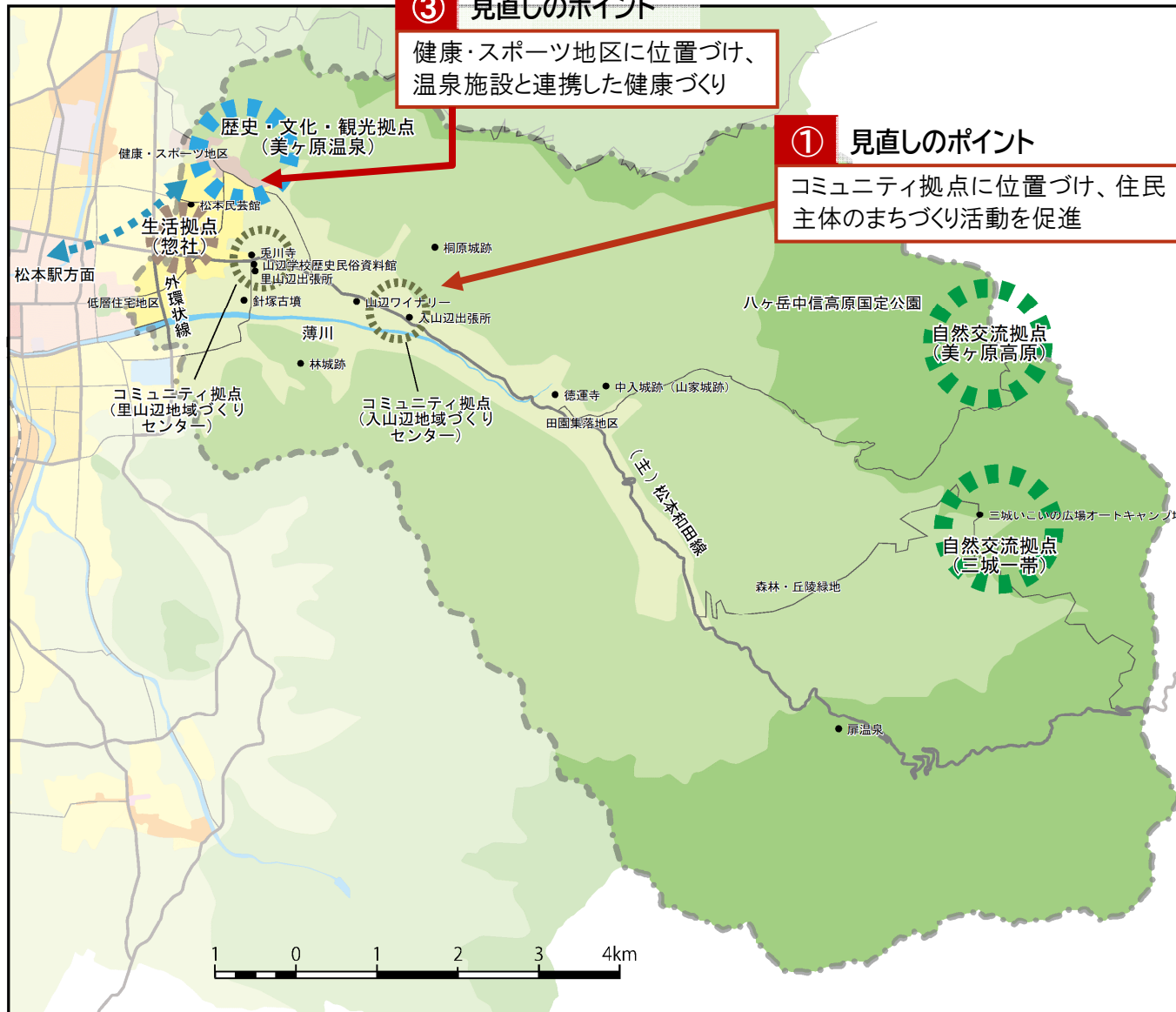
公共交通	・地域内移動、地域と中心市街地間の移動を支えるバス路線の検討(利用状況等を考慮して利便性の向上を検討) ②
環境保全形成	・情緒ある温泉街景観の形成(看板や表示板のデザイン化、歩行空間の充実と緑化による温泉街の景観形成、温泉街外周部と周辺の丘陵地及び低層住宅地などとの景観的な調和) ・山並みと調和のとれた住宅地景観の形成 ・入山辺のぶどう園などの地域資源を活かした里山景観の形成 ・薄川での生物の生息・生育に適した水辺環境の整備と親水空間の創出

地域別構想の見直しのポイント

- ①暮らしを支えるコミュニティ拠点を位置づけます
- ②地域の利用状況を考慮したバス路線の利便性向上を検討します
- ③美ヶ原温泉周辺を健康・スポーツ地区に位置づけ、温泉施設と健康づくりの連携を進めます
- ④歩行者、自転車交通の安全性を改善します
- ⑤公共施設や公民館、空き地等の利活用について地域と行政が連携して取り組みます

整備方針	健康・スポーツ地区(美ヶ原温泉地区)	滞在型の観光施設の整備・充実、スポーツ施設等の整備・充実を通じ、温泉施設と連携した健康づくりのための空間形成
	低層住宅地区(地域西部の住宅地)	周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりとうるおいのある居住環境の形成
	田園集落地区(薄川沿いに広がる農地)	優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上
	森林・丘陵緑地(八ヶ岳中信高原国定公園以外の丘陵地)	良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進
	公園緑地(八ヶ岳中信高原国定公園)	良好な自然環境と調和したレクリエーション、自然との交流及び市民の憩いの場としての充実
施設整備	・幹線道路の整備(都市計画道路出川浅間線の整備) ・自動車・歩行者・自転車交通の安全性の向上(道路の拡幅、安全対策等) ④ ・市街地における防災・避難空間の充実等 ・自然交流拠点と周辺のレクリエーション施設等の一体的活用(美ヶ原高原、三城一帯とその周辺のレクリエーション施設等を一体的に活用) ・ぶどう園や遺跡を巡る回遊型散策路の設定と整備(山辺ぶどう園や、山辺ワイナリー、針塚古墳、林城跡、中入城跡(山家城跡)、桐原城跡などを巡る回遊型の散策路の整備) ・公共施設や公民館、空き地等について、地域と行政が連携しながら、生活の快適性や利便性の維持・向上、コミュニティの醸成等の観点から利活用を検討 ⑤	

整備方針図



凡例

- 土地利用区分
- 中心商業業務地区
 - 都市型複合業務地区
 - 複合業務地区
 - 地域商業地区
 - 学術・医療地区
 - 健康・スポーツ地区
 - 工業地区
 - 流通業務地区
 - 複合産業地区
 - 都市型住宅地区
 - 低層住宅地区
 - 緑農住宅地区
 - 田園集落地
 - 山間集落地
 - 森林・丘陵緑地
 - 公園緑地
 - 河川
 - 交通施設用地
- 道路種別
- 高速道路
 - 高規格道路
 - 主要幹線道路
 - 幹線道路
- 公共交通
- 鉄道(JR)
 - 鉄道(その他)
 - バス(主要幹線、幹線)

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 東山南部地域(中山地区、内田地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

将来像	「北アルプスの壮大な眺望と里の緑や歴史資源を活かしたうらおいのある里山のまち」 ■中山・内田の緑や歴史的環境と調和する緑豊かな住宅地 ■北アルプスの眺望や中山・内田の緑・そば・遺跡文化にふれあえる里のまち	
まちづくりの方針	中山・内田の自然や歴史資源などを巡る回遊型の自然交流ゾーンを整備するとともに、この自然・歴史的環境と調和する住宅地を保全、形成します。 公共交通の改善に取り組みながら、既存の集落地における生活利便性の向上を図るとともに、農地の保全と営農環境の整備を図ります。	
拠点	コミュニティ拠点 (中山地区、内田地区の地域づくりセンター周辺)	地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動によるコミュニティの維持
	自然交流拠点 (中山丘陵一帯)	良好な自然環境と調和したレクリエーションや自然との交流の場として整備・充実
土地利用	低層住宅地区(中山住宅団地、六道地区)	周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりとうらおいのある居住環境の形成
	田園集落地区(丘陵地に広がる農業地)	優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上移住・定住等を促進するための農地付き空き家の利活用に向けた検討
	森林・丘陵緑地(中山から東南部に広がる丘陵地)	良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進
	公園緑地(中山丘陵、八ヶ岳中信高原国定公園)	良好な自然環境と調和したレクリエーション、自然との交流及び市民の憩いの場としての充実
整備方針	施設整備	・集落地における生活道路の整備 ・中山から内田にかけての丘陵地、そばの畑、史跡を活かした回遊を促す環境の整備(中山から内田にかけての丘陵地、そば畑、中山古墳群、弘法山古墳や重文馬場家住宅などの史跡を巡る回遊を促すため、住民参加によるまちづくりを支援し良好な環境を誘導) ・土砂災害警戒区域・特別警戒区域における危険周知、避難体制整備等の対策の推進
	公共交通	・地域内移動、地域と中心市街地間の移動を支えるバス路線の検討(利用状況等を考慮して利便性の向上を検討)
	環境保全形成	・中山丘陵における自然景観・歴史的景観の保全(中山の丘陵緑地の保全、周辺の自然環境との調和、市街地からの眺望景観に配慮した中山霊園や弘法山古墳などの施設整備) ・中山から内田にかけての丘陵地と調和する里山景観の形成(既存住宅地の歩道整備におけるデザイン化、緑化及びブロック塀の生垣化など) ・生物の生息・育成に適した水辺環境の整備、堤防沿いの緑化の促進(和泉川、牛伏川)

整備方針図

番号は見直しのポイントと合わせています



凡例

土地利用区分 ■ 中心商業業務地区 ■ 都市型複合業務地区 ■ 複合業務地区 ■ 地域商業地区 ■ 学術・医療地区 ■ 健康・スポーツ地区 ■ 工業地区 ■ 流通業務地区 ■ 複合産業地区 ■ 都市型住宅地区 ■ 低層住宅地区 ■ 緑農住宅地区 ■ 田園集落地区 ■ 山間集落地区 ■ 森林・丘陵緑地 ■ 公園緑地 ■ 河川 ■ 交通施設用地	道路種別 〰 高速道路 〰 高規格道路 〰 主要幹線道路 〰 幹線道路	公共交通 〰 鉄道(JR) 〰 鉄道(その他)
--	--	--------------------------------------

地域別構想の見直しのポイント

- ①暮らしを支えるコミュニティ拠点を位置づけます
- ②地域の利用状況を考慮したバス路線の利便性向上を検討します

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 南部地域(芳川地区、寿地区、寿台地区、松原地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

将来像	「水と緑の豊かなうまいのある住宅地と多様な産業が調和するまち」 ■ 駅周辺等の地域拠点を擁する利便性の高い市街地 ■ 田園景観と調和するうまいのある住宅地 ■ 松本市南部地域の暮らしを支える商業や文化のあるまち
まちづくりの方針	国道 19 号は沿道型商業施設の土地利用を維持します。また駅周辺や寿台・松原では生活サービス施設の立地誘導を図り、近接した地区は公共交通の利便性の高い居住環境を目指します。その他周辺については、農地を保全し地域の田園環境と調和した住宅地環境を整備します。
拠点	地域拠点(平田駅、村井駅、寿台・松原の周辺) 周辺市街地への生活サービス提供を目指し、交通結節点機能の向上を図るとともに、各種都市機能及び人口を誘導
	コミュニティ拠点(芳川地区、寿地区、寿台地区、松原地区の地域づくりセンター周辺) 地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動によるコミュニティの維持
	産業・研究拠点(流通業務団地) 大規模な工場・物流施設、研究機関の集積を維持・誘導し、周辺環境と調和する産業空間形成
	医療拠点(まつもと医療センター松本病院) 平時及び災害時における医療機能確保のために、病院へのアクセス道路の確保、周辺の防災機能の向上、各病院の医療活動に必要な環境整備など
	自然交流拠点(中山丘陵一帯) 良好な自然環境と調和したレクリエーションや自然との交流の場として整備・充実
土地利用	複合業務地区(国道 19 号沿道、地域商業地区周辺) 業務施設、物流施設、都市型工業施設及び都市型住宅からなる複合的・多機能な土地利用の形成
	地域商業地区(平田駅、村井駅、寿台・松原の周辺) 各都市機能誘導区域で設定した誘導施設の立地誘導を図ることで、商業・医療・福祉などの生活サービス機能が集積する商業地の形成
	流通業務地区(流通業務団地) 地区内及び周辺の操業環境向上により、流通機能の維持・増進
	低層住宅地区(複合業務地区周辺の住宅地) 周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりあるうまいのある居住環境の形成
	緑農住宅地区(村井東田地区) 農業的土地利用と調整を図りながら、計画的な住居系市街地への整備・誘導
	田園集落地区(南部地域の既存農地) 優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上
整備方針	森林・丘陵緑地(中山丘陵) 良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進
	施設整備 ・幹線道路の整備(骨格道路網) ・幹線道路及び生活道路における歩行者と自転車の安全性の確保 ④ ・市街地における防災・避難空間の充実等 ・駅周辺の交通結節機能の充実(平田駅におけるパークアンドライド駐車場の充実、村井駅の駅施設・駅前広場の整備) ・河川の水辺環境と一体化した散策路の整備(田川は生物の生息に適した水辺環境の整備と市民が河川に親しめる散策路の整備を促進) ・旧中信松本病院の跡地の活用検討
	公共交通 ・JR 篠ノ井線の利便性向上 ・地域内移動、地域と中心市街地との移動を支えるバス路線の利便性を維持、充実(路線・本数・時間の見直し) ③
環境保全形成	・活力ある駅前づくりと商業地景観の形成(歩行者空間の確保、舗装のデザイン化等) ・周辺環境と調和した住宅地景観の形成(緑地景観の保全、自然と田園に調和する農村集落の形成等) ・ゆとりある水辺環境を形成(奈良井川、田川等の自然環境の保全、親水護岸の整備)

整備方針図



凡例

土地利用区分 中心商業業務地区 都市型複合業務地区 複合業務地区 地域商業地区 学術・医療地区 健康・スポーツ地区 工業地区 流通業務地区 複合産業地区	都市型住宅地区 低層住宅地区 緑農住宅地区 田園集落地区 山間集落地区 森林・丘陵緑地 公園緑地 河川 交通施設用地	道路種別 高速道路 高規格道路 主要幹線道路 幹線道路	公共交通 鉄道(JR) 鉄道(その他) バス(主要幹線、幹線)
--	--	--	---

地域別構想の見直しのポイント

- 平田駅、村井駅、寿台・松原の周辺を地域拠点に位置づけ、生活サービス施設等の立地誘導を図ります
- 暮らしを支えるコミュニティ拠点を位置づけます
- 暮らしを支えるバス路線を位置づけます
- 歩行者等の安全性を改善します

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 中央南部地域(田川地区、鎌田地区、松南地区、庄内地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

番号は見直しのポイントと合わせています

将来像	「水・緑と多様な産業が調和するおいと活力のあるまち」 ■松本市の活力を支える複合業務地区、地域商業地区 ■多様な産業拠点や都心地区に近接した利便性の高い都市型住宅地区	
まちづくりの方針	本市西側の複合業務地区や南松本駅西側の地域商業地区の機能の維持・充実を図るとともに、その周辺には利便性の高い都市型住宅地区を形成します。	
拠点	地域拠点(南松本駅周辺)	周辺市街地への生活サービス提供を目指し、交通結節点機能の向上を図るとともに、各種都市機能及び人口を誘導
	生活拠点(笹部、石芝、庄内)	周辺地域への生活サービス提供を目指し、公共交通や生活サービス施設の維持・誘導と併せて拠点周辺の居住人口の維持
	コミュニティ拠点(田川地区、鎌田地区、松南地区、庄内地区の地域づくりセンター周辺)	地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動によるコミュニティの維持
	医療拠点(松本協立病院、丸の内病院)	平時及び災害時における医療機能確保のために、病院へのアクセス道路の確保、周辺の防災機能の向上、各病院の医療活動に必要な環境整備など

整備方針	土地利用	複合業務地区(松本駅西側地区、国道19号沿道、南松本駅周辺)	業務施設、物流施設、都市型工業施設及び都市型住宅からなる複合的・多機能な土地利用の形成
		地域商業地区(南松本駅前地区)	各都市機能誘導区域で設定した誘導施設の立地誘導を図ることで、商業・医療・福祉などの生活サービス機能が集積する商業地の形成
		工業地区(富士電機、IH アグリテック)	製造業を中心とした企業の集積を維持するとともに、操業環境向上に向けた基盤整備、周辺環境と調和した産業空間の形成
		都市型住宅地区	低未利用地活用及び土地の高度利用を通じて都市型住宅地の形成を進めるとともに、生活利便性を活かした積極的な居住誘導
		低層住宅地区	周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりとおいのある居住環境の形成
		田園集落地区(市街地の東側に広がる農地)	優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上
		森林・丘陵緑地(中山の北部に広がる丘陵地)	良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進
		公園緑地(中山丘陵)	自然との交流及び市民の憩いの場としての充実

整備方針	施設整備	・国道19号の拡幅整備(国道19号の4車線化整備) ・都市計画道路の整備や宮田前踏切の立体化事業の推進 ⑤ ・南松本駅における駅前広場や自転車駐車場の整備 ・幹線道路及び生活道路における歩行者の安全性の確保 ④ ・市街地における防災・避難空間の充実等 ・土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の危険周知、ソフト対策の推進 ・河川の水辺環境と一体化した散策路の整備(奈良井川、田川)
	公共交通	・JR篠ノ井線等の利便性向上 ・地域内移動、地域と中心市街地間の移動を支えるバス路線の利便性を維持、充実(路線・本数・時間の見直し) ・中心市街地と郊外部を繋ぐ自転車通行空間の整備
	環境保全形成	・活力ある駅前づくりと快適な産業空間の形成(松本駅アルプス口における魅力的な顔づくり、山岳眺望の確保、幹線道路の屋外広告物の規制) ・周辺産業地区と調和する都市型住宅地景観の形成(商業業務ゾーンや産業ゾーン周辺の住宅地については、優良なデザインの採用や緑化による良好な都市型市街地景観を形成) ・ゆとりのある水辺環境を形成(奈良井川、田川等の自然環境の保全、親水護岸の整備)



凡例	
土地利用区分	
	中心商業業務地区
	都市型複合業務地区
	複合業務地区
	地域商業地区
	学術・医療地区
	健康・スポーツ地区
	工業地区
	流通業務地区
	複合産業地区
	都市型住宅地区
	低層住宅地区
	緑農住宅地区
	田園集落地区
	山間集落地区
	森林・丘陵緑地
	公園緑地
	河川
	交通施設用地
道路種別	
	高速道路
	高規格道路
	主要幹線道路
	幹線道路
公共交通	
	鉄道 (JR)
	鉄道 (その他)
	バス (主要幹線、幹線)

地域別構想の見直しのポイント

- ① 南松本駅周辺を地域拠点に位置づけ、生活サービス施設等の立地誘導を図ります
- ③ 暮らしを支えるバス路線を位置づけます
- ② 暮らしを支えるコミュニティ拠点を追加します
- ④ 歩行者等の安全性を改善します
- ⑤ 交通渋滞を緩和するための道路整備

① 見直しのポイント
南松本駅周辺を地域拠点に位置づけ、生活サービス施設等の立地誘導

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 河西北部地域(島内、島立、新村地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

将来像	「美しい川に生まれ、雄大なアルプスを望む緑豊かな田園のまち」 ■松本市の新たな発展を担う複合業務地 ■田園景観と調和する緑豊かな住宅地 ■良好な営農環境と調和した快適で活力ある田園地帯	
まちづくりの方針	地域拠点である島内駅周辺においては、生活に必要な施設の立地の維持、誘導を図るとともに、都市型住宅を誘導します。 また、その北側から西側一帯の田園地帯では、アルピコ交通上高地線や国道 158 号等の幹線道路、松本大学等が立地する地域特性を踏まえて、公共交通のあるべき姿の検討と継続的な改善に取り組みながら、既存の集落地における生活利便性の向上を図るとともに、農地の保全と営農環境の整備を図ります。	
拠点	地域拠点 (島内駅周辺)	周辺市街地への生活サービス提供を目指し、交通結節点機能の向上を図るとともに、各種都市機能及び人口を誘導
	コミュニティ拠点 (島内地区、島立地区、新村地区の地域づくりセンター周辺)	住民が主体となった地域づくりの活動による日常生活に必要な機能の確保
	産業・研究拠点 (松本大学)	研究機関の集積を維持・誘導し、周辺環境と調和する空間形成
土地利用	複合業務地区(松本 IC 東側の市街地、島内駅周辺)	業務施設、物流施設、都市型工業施設及び都市型住宅からなる複合的・多機能な土地利用の形成
	地域商業地区(島内駅前)	都市機能誘導区域で設定した誘導施設の立地誘導を図ることで、商業・医療・福祉などの生活サービス機能が集積する商業地を形成
	都市型住宅地区(奈良井川沿川の市街地)	低未利用地活用及び土地の高度利用を通じて都市型住宅地の形成を進めるとともに、生活利便性を活かした積極的な居住誘導
	低層住宅地区(旧国道 147 号沿道地区及び小宮団地等)	周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりとuringのある居住環境の形成
	田園集落地区(河西北部地域一帯に広がる農地、農村集落)	優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上
施設整備	・幹線道路網の形成 (交通渋滞の解消に向けた幹線道路の優先整備) ・幹線道路及び生活道路における歩行者と自転車の安全性の確保 ④ ・市街地における防災・避難空間の充実等 ・河川や田園地帯を巡る自転車通行空間の形成 ・松本波田道路 IC 周辺の道路整備	
	・アルピコ交通上高地線、JR 大系線の利便性向上 ・地域内移動、地域と中心市街地との移動を支える幹線バス路線の利便性を維持、充実 (路線・本数・時間の見直し) ・幹線バスを利用しにくい地区では、鉄道や幹線バスへの接続により中心市街地への移動や生活関連施設への移動を担うバス路線の検討 (利用状況等を考慮して利便性の向上を検討) ③ ・新村駅周辺におけるパークアンドライドの充実	
公共交通	・松本平を象徴する田園集落景観の保全 (集落地内における一団の屋敷林の保全、農業施策との連携) ・河川における生物多様性の保全 (水辺環境の整備、外来植物の駆除や清掃等) ・田園景観と調和する住宅地景観の形成 ・陸の玄関口にふさわしい景観の形成 (屋外広告物等の規制)	
環境保全形成		

整備方針図

番号は見直しのポイントと合わせています



地域別構想の見直しのポイント

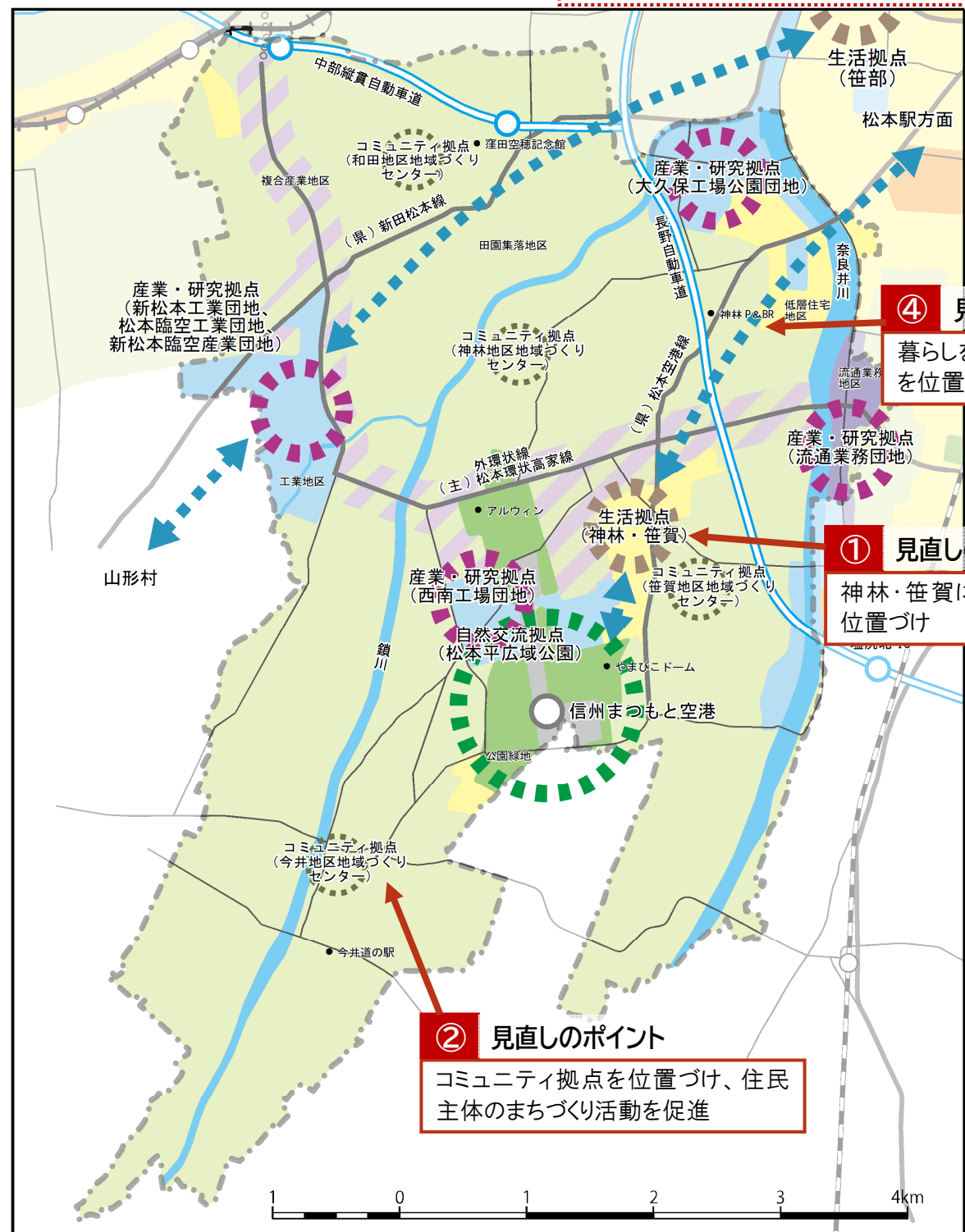
- ① 島内駅周辺を地域拠点に位置づけます
- ② 暮らしを支えるコミュニティ拠点を位置づけます
- ③ 地域の利用状況を考慮したバス路線の利便性向上を検討します
- ④ 道路の安全性と景観を改善します

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 河西南部地域(和田地区、神林地区、笹賀地区、今井地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

番号は見直しのポイントと合わせています

将来像	「都市型産業と田園景観が調和する躍動的な田園のまち」 ■ 交通利便性を活かした都市型産業集積地 ■ ハイレベルなスポーツ・レクリエーション機能のある公園のまち ■ 良好な営農環境と調和した快適で活力ある田園地帯	
まちづくりの方針	長野県の空の玄関口である信州まつもと空港や松本平広域公園の機能充実を図るとともに、広域交通条件を活かした産業・研究拠点の機能を維持・充実し、地域経済の活性化を図ります。また、田園地帯については散在する農村集落における生活環境の維持を図るとともに、農地の保全と営農環境の整備を図ります。	
拠点	生活拠点(神林・笹賀) ①	周辺地域への生活サービス提供を目指し、公共交通や生活サービス施設の維持・誘導と併せて拠点周辺の居住人口の維持
	コミュニティ拠点(和田地区、神林地区、笹賀地区、今井地区の地域づくりセンター周辺) ②	地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動によるコミュニティの維持
	産業・研究拠点(大久保工場公園団地、流通業務団地、西南工場団地、新松本工業団地、松本臨空工業団地、新松本臨空産業団地)	大規模な工場・物流施設、研究機関の集積を維持・誘導し、周辺環境と調和する産業空間形成
	自然交流拠点(松本平広域公園)	良好な自然環境と調和したレクリエーションや自然との交流の場として整備・充実
土地利用	工業地区(大久保工場公園団地、西南工場団地、新松本工業団地、松本臨空工業団地、新松本臨空産業団地)	製造業を中心とした企業の集積を維持するとともに、操業環境向上に向けた基盤整備、周辺環境と調和した産業空間の形成
	流通業務地区(流通業務団地)	地区内及び周辺の操業環境向上により、流通機能の維持・増進
	複合産業地区(主要地方道松本環状高家線沿線地区)	優良農地の保全を基本としたうえで、今後の道路整備に伴う産業用地需要の変化を見据えながら、市の産業政策と合致する場合には、農業的土地利用との調整を図り産業施設の誘導 ③
	低層住宅地区(今井ニュータウン、既存の市街化区域)	周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりとるおいのある居住環境の形成
	田園集落地区	優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上
	公園緑地(松本平広域公園等)	良好な自然環境と調和したスポーツ・レクリエーション、自然との交流及び市民の憩いの場としての充実
整備方針	施設整備	・ 幹線道路網の整備(松本波田道路、都市計画道路等) ・ 松本波田道路の周辺における交通安全性の確保と田園景観の保全 ⑤ ・ 信州まつもと空港の路線拡充・機能強化(空港周辺の環境整備、空港へのアクセス等の強化) ・ 工業地における製造業の集積・操業環境向上に向けた基盤整備 ・ 市街地における防災・避難空間の充実等 ・ 河川の水辺環境と一体化した散策路の整備(奈良井川、鎖川) ・ 河川沿いや田園地帯を巡る自転車通行空間の整備の推進 ・ 信州まつもと空港、平田駅、村井駅を結ぶ公共交通の充実化 ・ 松本平広域公園の整備(レクリエーションや自然との交流の場所としての整備・充実)
	公共交通	・ 地域内移動、地域と中心市街地間の移動を支える幹線バス路線の利便性を維持、充実(路線・本数・時間の見直し ④) ・ 幹線バスを利用しにくい地区では、鉄道や幹線バスへの接続により中心市街地への移動や生活関連施設への移動を担うバス路線の検討(利用状況等を考慮して利便性の向上を検討)
環境保全形成	・ 田園景観と調和する産業空間の形成(工業団地内外の景観配慮、団地周辺部の緩衝緑地等の設置、松本環状高家線の道路緑化、沿道の無秩序な看板・サイン等の規制、緑化) ・ 松本平を象徴する田園集落景観の保全 ・ ゆとりのある水辺環境を形成(鎖川、奈良井川等の自然環境の保全、親水護岸の整備) ・ 田園景観と調和する住宅地景観の形成(歩道のデザイン化や緑化、ブロック塀の生け垣化) ・ 空の玄関口にふさわしい景観の形成(空港及び周辺の修景整備、上空からの景観配慮)	



④ 見直しのポイント
暮らしを支えるバス路線を位置づけ

① 見直しのポイント
神林・笹賀に生活拠点を位置づけ

② 見直しのポイント
コミュニティ拠点を位置づけ、住民主体のまちづくり活動を促進

凡例		
土地利用区分 ■ 中心商業業務地区 ■ 都市型複合業務地区 ■ 複合業務地区 ■ 地域商業地区 ■ 学術・医療地区 ■ 健康・スポーツ地区 ■ 工業地区 ■ 流通業務地区 ■ 複合産業地区	■ 都市型住宅地区 ■ 低層住宅地区 ■ 緑農住宅地区 ■ 田園集落地区 ■ 山間集落地区 ■ 森林・丘陵緑地 ■ 公園緑地 ■ 河川 ■ 交通施設用地	道路種別 — 高速道路 — 高規格道路 — 主要幹線道路 — 幹線道路
		公共交通 — 鉄道(JR) — 鉄道(その他) — バス(主要幹線、幹線)

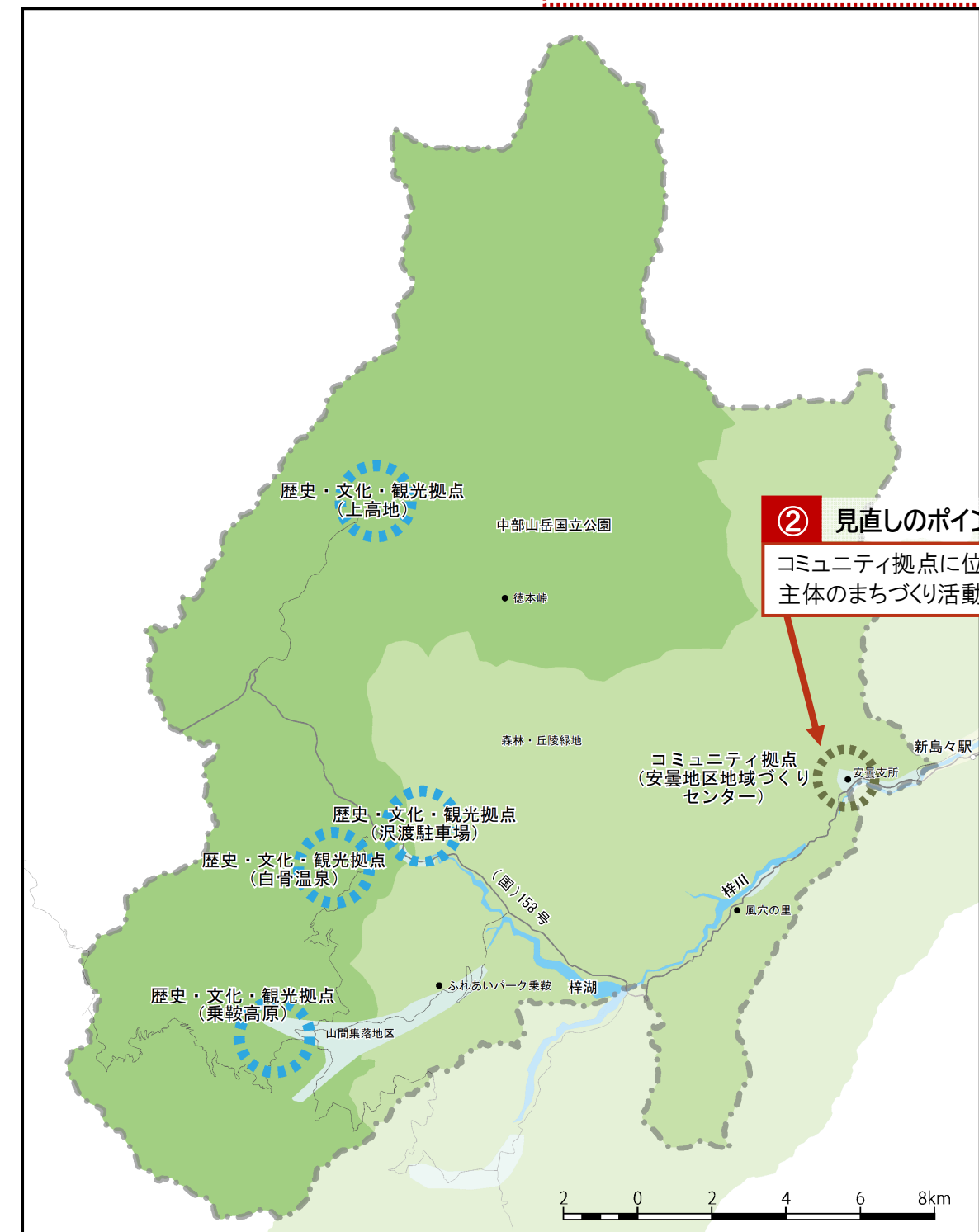
松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 安曇地域(安曇地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

将来像	「北アルプスに抱かれた 四季折々の表情を魅せる 自然豊かなまち」 ■世界水準の観光資源を活かした滞在型の山岳リゾート ■生活基盤の整った住みやすい観光のまち	
まちづくりの方針	上高地などの世界に誇れる美しい山岳地帯を活かし、基盤整備を整え、快適に回遊できるまちを形成することにより、旅行者のリピーター化や滞在型の観光地づくりを目指します。また、今ある公共サービスを持続し、生活基盤を整えることで定住化を促進し、まちの活性化を図ります。	
拠点	コミュニティ拠点 (安曇支所・安曇地区地域づくりセンター周辺)	地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動によるコミュニティの維持
	歴史・文化・観光拠点 (上高地、乗鞍高原、沢渡駐車場、白骨温泉)	歴史・文化・観光資源の保全・活用、観光施設等の整備・充実を図るとともに、周辺地域と一体なった魅力向上や回遊性向上
土地利用	山間集落地区(既存集落地区)	比較的小規模な農地の生産性向上に努めるとともに、農村集落地の生活環境の維持・向上
	森林丘陵緑地(中部山岳国立公園以外の森林地域)	良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進
	公園緑地(中部山岳国立公園)	良好な自然環境と調和したレクリエーション、自然との交流及び市民の憩いの場としての充実
整備方針	施設整備	・幹線道路の整備(中部縦貫自動車道、国道158号) ・山岳エリア間をつなげ、連携した観光地域づくりのためのインフラ整備 ① ・北アルプスの玄関口として、世界中から多くの観光客や登山客を迎える利用環境の充実(上高地) ① ・国から指定されたゼロカーボンパークとして、脱プラ、循環型社会の実現を目指し、自然と文化が融合した持続可能な山岳観光地の整備(乗鞍エリア) ① ・水道事業の推進(老朽化と水需要の変化を考慮した維持管理、施設の見直し) ・生活排水処理施設の整備(合併処理浄化槽設置整備事業を推進、既存の公共下水道施設、農業集落排水施設の維持管理)
	公共交通	・鉄道への接続により中心市街地への移動や生活関連施設への移動を担うバス路線の検討(利用状況等を考慮して利便性の向上を検討) ③ ・地域の需要に応じた最適な交通サービスの構築
	環境保全形成	・豊かな自然環境の保全(上高地や乗鞍高原とその周辺の山々から構成される優れた山岳自然景観の保全、観光施設等の整備における周辺の自然環境及び景観の保全への配慮) ・歴史的資源の保全と活用(白骨温泉などの温泉宿の景観を保全、観光施設として活用) ・豊かな自然環境と調和した住宅地景観の形成(集落地においては、自然と調和する緑豊かな落ち着きのある景観形成)

整備方針図

番号は見直しのポイントと合わせています



② 見直しのポイント
 コミュニティ拠点に位置づけ、住民主体のまちづくり活動を促進

地域別構想の見直しのポイント

- ① 上高地や乗鞍の旅行者の利用環境の向上を図ります
- ② 暮らしを支えるコミュニティ拠点を位置づけます
- ③ 地域の利用状況を考慮したバス路線の利便性向上を検討します

凡例

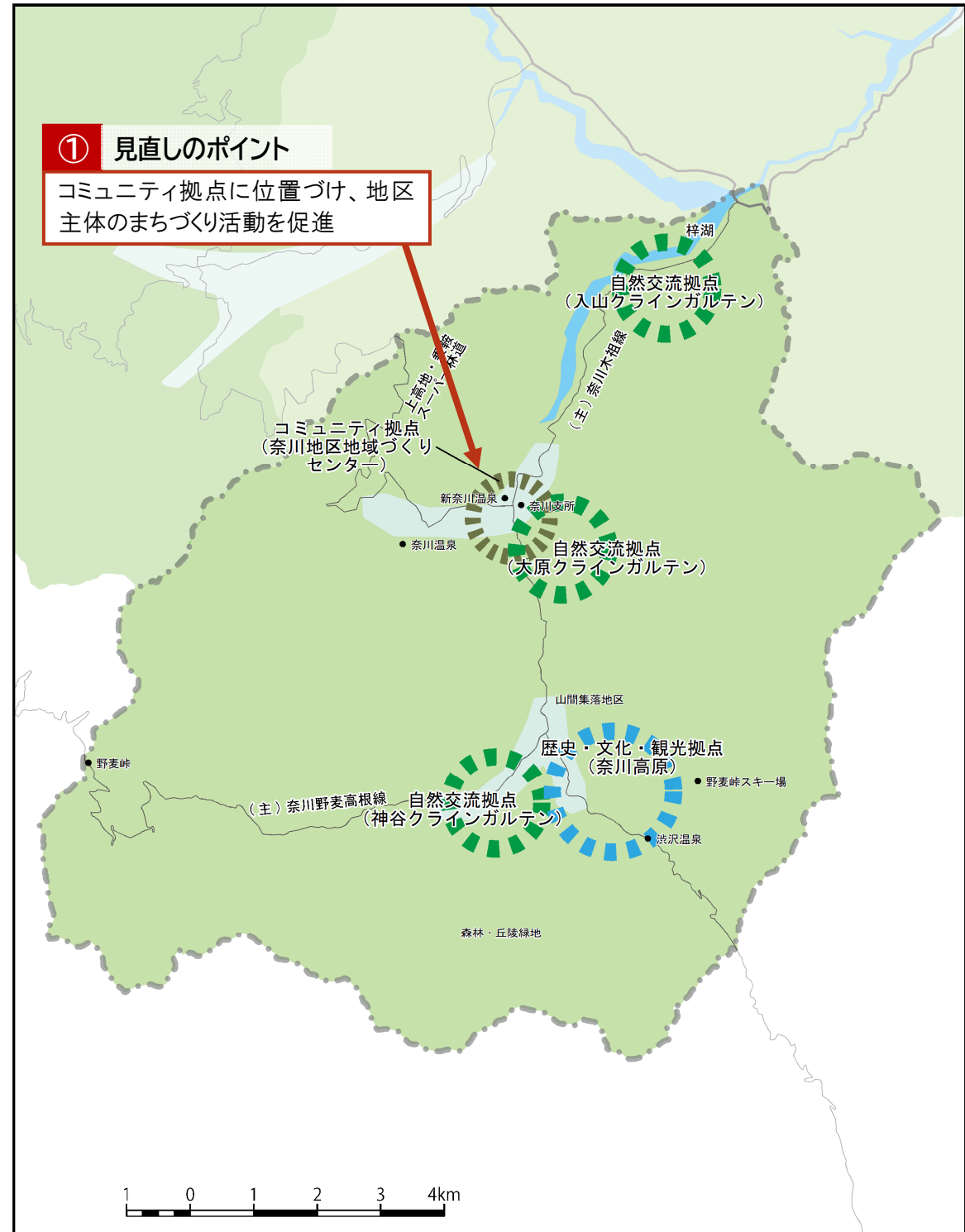
土地利用区分 ■ 中心商業業務地区 ■ 都市型複合業務地区 ■ 複合業務地区 ■ 地域商業地区 ■ 学術・医療地区 ■ 健康・スポーツ地区 ■ 工業地区 ■ 流通業務地区 ■ 複合産業地区 ■ 都市型住宅地区 ■ 低層住宅地区 ■ 緑農住宅地区 ■ 田園集落地区 ■ 山間集落地区 ■ 森林・丘陵緑地 ■ 公園緑地 ■ 河川 ■ 交通施設用地	道路種別 — 高速道路 — 高規格道路 — 主要幹線道路 — 幹線道路	公共交通 — 鉄道(JR) — 鉄道(その他)
--	--	--------------------------------------

将来像、まちづくりの方針、整備方針

将来像	「自然に囲まれた やすらぎのある山あいの郷」 ■ 自然環境の保全による癒し空間の創出 ■ 自然のやすらぎによる定住化促進のまち	
まちづくりの方針	奈川地域は豊かな自然環境に恵まれています。その自然環境を保全することで、「癒しの場所・安らぎ空間」を創出し定住化促進を図ります。 中山間地の需要に応じた、持続的な生活サービス機能の構築を図ります。	
拠点	自然交流拠点 (奈川高原、クラインガルテン)	良好な自然環境と調和したレクリエーションや自然との交流の場として整備・充実
	コミュニティ拠点 (奈川支所・奈川地区地域づくりセンター周辺)	地区の日常生活に必要な機能の確保を目指し、地域づくりの活動による生活サービス施設の維持とコミュニティの維持
土地利用	山間集落地区(奈川支所、奈川地区地域づくりセンター、既存集落周辺)	比較的小規模な農地の生産性向上に努めるとともに、農村集落地の生活環境の維持・向上 農林業以外の産業との連携や市街地との連携を通じて地区の活性化
	森林・丘陵緑地 (既存集落地以外の森林地域)	良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進
整備方針	施設整備	・中部縦貫自動車道や幹線道路のネットワークの形成(中部縦貫自動車道の整備・促進及び国道158号、(主)奈川木祖線、(主)奈川野麦高根線の改良) ・公営簡易水道、飲料水供給施設の上水道の計画的な維持管理 ・奈川診療所の整備 ③ ・土砂災害警戒区域・特別警戒区域における危険周知、避難体制整備、開発制限等の対策の推進
	公共交通	・鉄道への接続により中心市街地への移動や生活関連施設への移動を担うバス路線の検討(利用状況等を考慮して利便性の向上を検討) ② ・地域の需要に応じた最適な交通サービスの構築
	環境保全形成	・豊かな自然環境の保全(奈川高原、野麦峠とその周辺の山々から構成される優れた自然景観の保全、新しい観光施設等の建造に当たっての自然環境保全への配慮) ・山あいの郷としての集落地景観の形成(集落地や観光地においては、地域特有の自然と調和した集落、道路・河川などの景観の保全)

整備方針図

番号は見直しのポイントと合わせています



凡例

- | | |
|--|--|
| 土地利用区分
■ 中心商業業務地区
■ 都市型複合業務地区
■ 複合業務地区
■ 地域商業地区
■ 学術・医療地区
■ 健康・スポーツ地区
■ 工業地区
■ 流通業務地区
■ 複合産業地区
■ 都市型住宅地区
■ 低層住宅地区
■ 緑農住宅地区
■ 田園集落地区
■ 山間集落地区
■ 森林・丘陵緑地
■ 公園緑地
■ 河川
■ 交通施設用地 | 道路種別
— 高速道路
— 高規格道路
— 主要幹線道路
— 幹線道路 |
|--|--|

地域別構想の見直しのポイント

- ① 奈川支所周辺をコミュニティ拠点に位置づけます
- ② 地域の利用状況を考慮したバス路線の利便性向上を検討します
- ③ 持続的な医療サービスの提供を図ります

松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 梓川地域(梓川地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

番号は見直しのポイントと合わせています

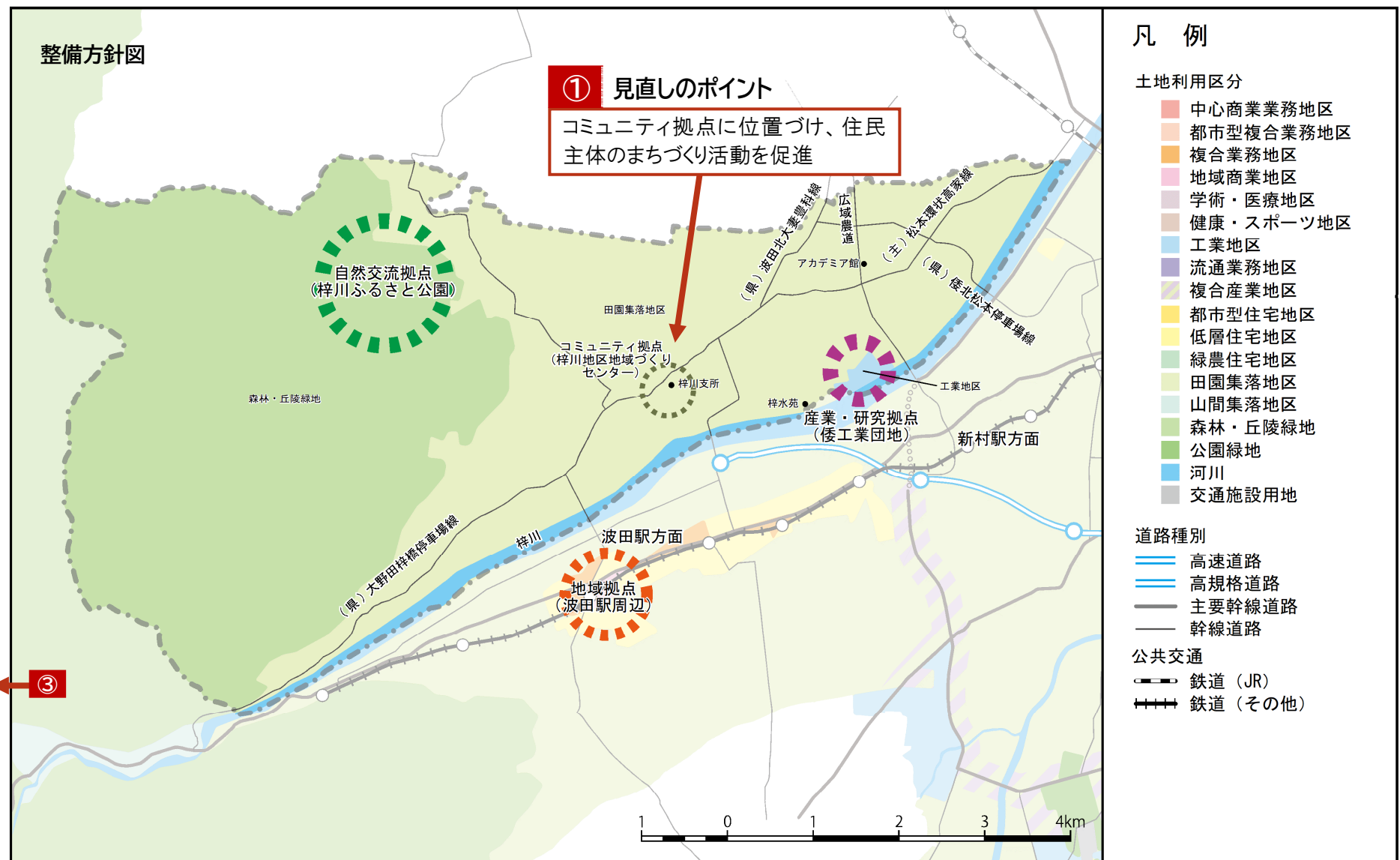
将来像	「美しい川に育まれた 活力ある農業のまち」 ■安曇野の田園風景を保全したうおいのあるまち ■地域を支える農業のさかんなまち ■梓川や緑豊かな森林の自然環境とふれあえるまち	
まちづくりの方針	本市の活力ある農業のまちとして、地域の産業を支える農業環境を保全し、居住環境と調和したうおいあるまちを形成していきます。 平坦地に形成された集落の広がりを考慮して、持続的な交通サービスの構築を図ります。	
拠点	コミュニティ拠点 (梓川支所・梓川地区地域づくりセンター周辺)	住民が主体となった地域づくりの活動による日常生活に必要な機能の確保
	産業・研究拠点 (倭工業団地)	大規模な工場・物流施設、研究機関の集積を維持・誘導し、周辺環境と調和する産業空間形成
	自然交流拠点 (梓川ふるさと公園)	良好な自然環境と調和したレクリエーションや自然との交流の場として整備・充実

整備方針	土地利用	工業地区	製造業を中心とした企業の集積を維持するとともに、操業環境向上に向けた基盤整備、周辺環境と調和した産業空間の形成
	田園集落地区	優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上	
	森林・丘陵緑地	良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進	
施設整備	・幹線道路の整備（骨格道路網） ・下水道施設の適正な維持管理（長寿命化計画に基づく下水道施設の適正な維持管理） ・持続可能な水道事業の推進（計画的な管路の更新、施設の耐震化、井戸水源の維持による安全・安心な水道水の安定供給） ・土砂災害警戒区域・特別警戒区域における危険周知、避難体制整備、開発制限等の対策の推進		

公共交通	・鉄道への接続により中心市街地への移動や生活関連施設への移動を担うバス路線の検討（利用状況等を考慮して利便性の向上を検討） ← ②
環境保全形成	・農業景観と調和する宅地景観の形成（農業として利用すべき土地の保全、適正な農業生産と居住環境の住み分け、住宅や商工業用地の無秩序な拡散の防止） ・貴重な自然環境の保全（西部の森林地域の保全、梓川の生物が生息できるような環境の保全） ・農業基盤整備された農地の保全（農業基盤整備事業が行われた農地は、優良農地として保全・活用）

地域別構想の見直しのポイント

- 暮らしを支えるコミュニティ拠点を位置づけます
- 地域の利用状況を考慮したバス路線の利便性向上を検討します
- 防災対策を推進します



松本市都市計画マスタープラン 地域別構想(素案)の概要 波田地域(波田地区)

将来像、まちづくりの方針、整備方針

番号は見直しのポイントと合わせています

将来像	「美しい田園・河岸段丘に育まれた西部地域における生活拠点」 ■ 鉄道駅を中心とした、緑豊かで暮らしやすいまち ■ 田園風景・河岸段丘を保全したうおいのあるまち ■ 地域を支える農業のさかんなまち	
まちづくりの方針	鉄道駅周辺は医療・福祉施設や学校施設、商業施設が立地した生活の中心機能の維持・充実を図るとともに、郊外は活力ある農業のまちとして農地の保全と営農環境の整備を図り、居住環境と調和したまちを形成していきます。	
拠点	地域拠点 (波田駅周辺)	周辺市街地への生活サービス提供を目指し、交通結節点機能の向上を図るとともに、各種都市機能及び人口を誘導 ①
	コミュニティ拠点 (波田支所・波田地区地域づくりセンター周辺) ②	住民が主体となった地域づくりの活動による日常生活に必要な機能の確保
	医療拠点 (松本市立病院)	平時及び災害時における医療機能確保のために、病院へのアクセス道路の確保、周辺の防災機能の向上、医療活動に必要な環境整備等の推進

整備方針	土地利用	地域商業地区 (波田駅前) ①	都市機能誘導区域で設定した誘導施設の立地誘導を図ることで、商業・医療・福祉などの生活サービス機能が集積する商業地の形成
		複合業務地区 (波田駅周辺、国道 158号沿道) ①	都市機能誘導区域で設定した誘導施設の立地誘導を図る商業・医療・福祉などの生活サービス機能とともに、業務施設、物流施設、都市型工業施設及び都市型住宅からなる複合的・多機能な土地利用の形成
		低層住宅地区 (鉄道駅周辺)	周辺の自然環境や景観資源にも配慮しつつ、戸建て住宅を主体とするゆとりとうおいのある居住環境の形成
		田園集落地区 (平坦地域)	優良農地の保全、農村集落地の生活環境の維持・向上
		森林・丘陵緑地 (西部森林地域)	良好な自然環境を保全するとともに、環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、水源涵養機能、土砂災害防止機能、景観形成機能及び森林生産機能の維持・増進

整備方針	施設整備	・ 駅周辺の交通環境の整備 (鉄道利用の促進を図るための交通環境の整備) ・ 幹線道路の整備 (松本波田道路、国道 158 号の渋滞対策道路、南北方向の幹線道路の整備) ・ 自動車・歩行者・自転車交通の安全性の向上 (国道 158 号の改善、生活道路の整備) ・ 市街地における防災・避難空間の充実等 ・ 散策路の整備 (鉄道駅を起点として、旧野麦街道や波多神社等の社寺、梓川沿いなどの地域資源を巡る散策路の整備) ・ 市立病院の建て替え検討 ・ 福祉施設の機能維持及び利便性の向上 (医療・福祉施設へのアクセスの改善) ・ 地域産業育成・観光交流のための施設整備 (波田インターチェンジ周辺の良い営農環境と調和した適正な土地利用)
------	------	---

整備方針	公共交通	・ アルピコ交通上高地線の利便性向上 ・ 鉄道への接続により中心市街地への移動や生活関連施設への移動を担うバス路線の検討 (利用状況等を考慮して利便性の向上を検討) ③
	環境保全形成	・ 活力ある駅前づくりと快適な商業空間の形成 (駅周辺の歩行者空間の確保、舗装のデザイン化、街路の緑化等) ・ 田園集落景観の保全 ・ 歴史的資源の保全と活用 (旧野麦街道の街並み、若沢寺跡等の保全) ・ 貴重な自然環境の保全 (梓川での動物が生息できるような水質の改善や環境整備、段丘の緑地の保全、西部の森林地域等の自然環境の保全、市街化調整区域の幹線道路沿道の田園環境・景観の保全)。 ・ 農業基盤整備された農地の保全

地域別構想の見直しのポイント

- 波田駅周辺を地域拠点に位置づけ、生活サービス施設の立地誘導を図ります
- 暮らしを支えるコミュニティ拠点を位置づけます
- 地域の利用状況を考慮したバス路線の利便性向上を検討します

① 見直しのポイント

波田駅周辺を地域拠点に位置づけ、波田駅周辺に生活サービス施設等の立地誘導

② 見直しのポイント

コミュニティ拠点に位置づけ、住民主体のまちづくり活動を促進

